

おおあさひ支部報

円滑な事業運営を

支部役員研修に成果

令和元年、市社会福祉協議会大旭支部の役員研修会が、11月27日、いわき市の石炭・化石館、白水阿弥陀堂、ら・ミユウなどで会員間の親睦と交流を深め、支部活動に役立てようと、29人が参加して行われました。

小野武支部長は「令和元年の支部行事としては最後の行事です。毎回多くの方に参加をいただき、社会福祉に対する認識が高まってきているものと思います。3月に開催されるふれあい食事が年度最後の行事になります。これか

らも支部の行事にご協力をお願いいたします」とあいさつしました。

石炭・化石館は、石炭展示室と化石展示室に分けられ、石炭展示室は常磐炭田の歴史や採掘道具の展示や、炭鉱町の生活復元コーナー、模擬坑道を再現、当時の雰囲気体験できました。

化石展示室は、世界各地の化石が展示され、地球の歴史を学べるようになっており、いわき市内で発見されたフタバズキリユウの巨大な復元標本が展示されていました。

白水阿弥陀堂は、平安時代末期建立の仏堂で、福島県内唯一の国宝建造物、国宝指定名称は「阿弥陀堂（白水阿弥陀堂）」所有者は願成寺。浄土式庭園を含む境内は、白水阿弥陀堂境域として国の史跡に指定されています。

充実した役員研修会を振り返った小野支部長は「今後も支部行事を通して、福祉や地域との交流を一層深め、支部の行事をもっと皆さんに理解していただくため、気軽に参加できるように努めています。次年度も、多くの参加を願っています」と最後に締めくくりました。



いわき市石炭・化石館前で

聖地 御岩神社を参拝

大旭支部女性部研修会

9月24日女性部（渡辺米子部長）では、「信仰の聖地・御岩神社参拝」を主な訪問先として、研修会を行いました。

参加者は、にじの会会員と支部役員・笠間市社会福祉協議会、支部社協担当米川さん、総勢26人を乗せたバスが、日立市入四間町へ向けて笠間市地域福祉センターを出発。交通渋滞もなく、予定通り午前9時45分、目的地に着きました。

御岩神社の境内は長い坂道が続くため、駐車場に近い案



神社の入口で

内板のもとでの、記念撮影となりました。

◎御岩神社の概要

・常陸風土記に記された、常陸国（茨城県）最古の名刹。

・国常立尊（くにとこたちのみこと）をはじめ、188柱の祭神を祀る。

・神仏を祀る、唯一の社。（パンフレットから抜粋）

◆境内めぐりと参拝

杉の原木が鬱蒼と茂る参道から、拝殿へと進みました。

拝殿には、大日如来像・阿弥陀如来像をはじめ数々の祭神・仏像が祀られており、思いに参拝しました。

また、某宇宙飛行士が「ここからの強い光を見た!」と話題のパワースポットも、自然と神仏とが一体となった御岩神社の雰囲気から生まれたように感じられました。

◆参加者からの声

・信仰の聖地を参拝して、心が清められました。

・頂戴したパワーを、今後の配食活動に活かします。

などと、研修成果を語りあいつつ、帰途につきました。

伝統文化を学ぶふれあいの集い



金子友美区長から、「この集いの目的は、地域の交流と防災意識の向上にあります。防災マップをもとに①集合場所と安否情報 ②給水場所③避難場所などの確認をお願いします」と挨拶がありました。

外では、子どもたちや参加者が、輪投げ・パターゴルフ



三世代で交流(輪投げ)

秋も深まり、冬の気配を感じさせる校庭、元気に児童たちの明るい声が響き渡る、11月2日「三世代ふれあいのつどい」が、友部第二小学校の校舎や体育館、グラウンドを会場に全校児童や保護者、大旭支部関係者やボランティアなど、約500人が集まって盛大に開かれました。

地区三世代交流会

大旭支部では毎年開催される三世代交流事業に、助成を行っております。

昔遊びを元気に学ぶ

友部第二小学校

はじめに、矢口祐治校長先生が「今日はふれあいの日、一人一人のご支援に感謝し、地域の皆さんと楽しく、昔遊びをたくさんして、お父さんお母さんと一緒に学び、深いふれあいのつどいにしてください」と児童と保護者によびかけ、また、堀江英美PTA会長、小野武社会福祉協議会大旭支部長が「友二小は地域に愛されている小学校です。地域の人たちと昔遊びを学び、いろいろな人と接してお話をし、勉強してください。そして体験してください。伝統文化と遊びを心にきざみ、一日をおおいに楽しんでください」とあいさつしました。

塙華々梨さん(6年)がボランティアの紹介、その他8人の実行委員会(6年)が催しものの案内をし、その後教室や体育館、グラウンドに分かれ、ボランティアや支部役員らによつて竹馬・めんこ・ペーゴマ・紙ひこうき・どんぐりごま・おりがみ・けんだま・はねつき・まとあてなど21種類の遊びやゲームが準備されており、各会場ではボランティアの皆さんから伝統の遊び方を学び、見るのもさわるのもはじめて体験する遊びに、子どもたちは四苦八苦しながらも、熱心に取り組み、お父さんお母さんも一緒に楽しんでいました。

おわりのつどいでは、実行委員の大枝朝灯君(6年)から感謝とお礼の言葉が述べられ、6年生全員から大旭支部とボランティアに花がプレゼントされ、最後に全校児童からの「ありがとうございましたのお礼の言葉で、日程を終了しました」

地域交流と
防災意識の確認を

旭平二区

10月27日、ややお天気心配もありましたが、旭崎新農村集落センターで、旭平二区のふれあいの集いが開催されました。来賓として、小野武社協大旭支部長、新加入3人を加え、約70人の方々に参加しました。

また、菊花展覧会では、多くの出展作品の中から、投票の結果10点が入賞しました。藤井敏審査委員長から、菊づくりや審査のポイントが丁寧に説明される「〇〇で賞」などのユーモアあふれる発表もありました。

昼食は歓談しながらの温かい手作りカレーでした。

最後に「ピング大会」があり、会場は一気に盛り上がり、ワクワク、ドキドキ。

景品は、日用品、おもちゃなど各家庭からの持ち寄りで、選ぶのも楽しそうでした。

**グループ対抗で
ふれあいが深まる
旭台団地**

秋たけなわの10月27日、旭台団地運動公園で、三世交代流会が開催されました。

(参加人数・127人)

開会式では、増淵隆会長から「皆様の協力で、交流会を開催することが出来ました。今回は、世代間の交流をより深めるため、グループ編成にします。ふれあいを、お楽しみください」と、あいさつ。

続いて、子ども会育成会のリードでラジオ体操。

◆イベントの内容

① ジャンケン大会

ジャンケンには、参加者全員の勝ち残り方式で、最後に残った高齢者と小学生の一騎



いざ決勝戦!

打ちとなり、たいへんな盛り上がりになりました。

② グループ対抗競技

・玉入れ大会(各組2回戦)
・ホールインワンゲーム(グループ別得点集計)の結果、1位赤組・2位緑組・次に、青組・黄色組でした。

③ お菓子のコーナー

・綿あめづくりの実演
・ポップコーン(事前に作成)で、子どもに笑顔が。

④ 防災非常食体験コーナー

薪で炊いた飯盒炊飯、ホカホカご飯にみんな舌鼓。ふれあいは表彰式と、青木清副会長のあいさつで終了。参加者は、参加賞と弁当を手に入れました。

**三世代の親睦
元気に 仲良く
旭台**

秋がぐつと深まった11月10日、旭台公民館で「第24回旭台ふれあいの集い」が開催されました。参加者は、旭台地区役員、子ども会、お父さん、お母さん、祖父母、小野武社協大旭支部長、村上典男県議会議員など約150人が集まりました。



子どもたちが店員さん

た。

八巻信男区長から、「晴天に恵まれ、また天皇陛下の即位を祝うパレードがある日。親睦を深め楽しい一日を過ごしてください」と挨拶があり、集いが始まりました。

まず、子どもたちの積極的に活動する姿が印象的でした。店員さんになって「いらっしゃい」と、大根、キャベツ、サツマイモ、ミカン、バナナなどを販売しました。また、室内では、お母さん方の手伝いや、将棋、オセロ、おはじき、輪投げなどの子ども遊びの準備をしました。

きで、集いの雰囲気も一段と盛り上がりました。子どもも餅つきに参加しました。お母さんたちの調理によるけんちん汁うどん、あんこ餅、きなこ餅もでき、みんなでおいしく食べました。

幅広い世代が親睦を深めた一日となりました。

**絆を深めた交流会
旭崎一区**

抜けるような青空のもと、11月10日に三世交代流会秋祭りが開催され、約1000人の方々が旭崎新農村集落センターにぞいきました。

◆競技の部(運動場)
紙飛行機とばし・豆つかみ競争・ホールインワンゲームの会場では、おじいさんやおばあさんが子どもたちにゲームを教える姿がそこかしこに見られ、ほほえましい交流の場が広がっていました。

◆食事づくり(調理場ほか)
ホールの前庭では、お父さん方の杵つき餅と鉄板焼きそばのコーナーが設けられ、おいしそうなおいが周りにた



ホールでの楽しい会食

だよっていました。

つきあがった餅は、お母さん方によって雑煮など5種類の餅料理となり、焼きそばや副菜とともに懇親会場の卓上にならべられました。

◆あいさつと会食
主催者の高間香区長と、来賓の小野武社協大旭支部長から「班長さん方・ヘルスリダーの会・にじの会・高齢者クラブ新生会・子ども会育成会のご協力で、絆が深められました」とあいさつ。

会食ではおいしい料理に舌鼓を打つとともに、子ども会の進行で行われたビンゴゲームをもって、楽しい交流会を終えました。

祝 敬老会

人生100年時代に 気候の変動に注意を

友部第二小学校区

10月とは思えない暑さが照りつける5日、友部第二小学校体育館で、学区内合同敬老祝賀会が開かれ、60数人の米寿を迎えられた方々が紹介され、招待者130人、実行委員など関係者50人が出席して行われました。

青木清実行委員長が「令和元年の祝辞を申し上げます。今年も皆さんとお会いできるのを楽しみにしていました。支部内でも高齢者がふえております。健康で長生きをしていただき、また来年、元気なお姿でお会いできるよう、気候の変動には充分注意されておすごしく下さい」と主催者のあいさつをしました。

来賓では、山口伸樹笠間市長が「今の時代、人生100年です。笠間市でも100歳を越えた方がたくさんおります。これまで皆さん方の、地域におけるご尽力に敬意を表

します。皆様と一緒に長寿をお祝いできますことを嬉しく思います。また、これまで培ってこられた貴重な経験、知識が豊かな方々が、知恵を出し合い地域社会を作ってこられました。これからは、健康に十分留意されてほしいと思います」と祝辞を述べ、常

井洋治・村上典男県議会議員も祝辞を述べ参加者を激励しました。

アトラクションは、友部第二小音楽隊による演奏が披露され、音楽隊長の山口裕加（6年）さんから、音楽隊の紹介、ダンスや上を向いて歩こうを参加者と一緒に合唱するなど、会場を盛り上げました。また、ムーンフレンズによる歌と演奏と、矢口祐治校長が中西派一刀流の剣術の演



友二小音楽隊の演奏を楽しむ

舞を披露、会場は一段と盛り上がり最高潮に、最後に抽選会が行われ、記念品を手に散会しました。

楽しく 元気に

エール交換 旭崎一区

9月9日、旭崎新農村集落センターで、令和元年度旭崎一区敬老会が開催されました。台風が来る前でしたが、29人の方々が元気に参加されました。

最初に、山口伸樹笠間市長から「健康管理をされ、地域の役割を担い活躍をしてほしい」と祝辞がありました。

高間香区長から「本年度の敬老会対象者は63人、米寿の方は2人です。にじの会、ヘルズ会、子ども会の準備のもと、楽しんでほしい」と挨拶

があり、新生会小野武会長から挨拶、支部の活動と年間行事の説明がありました。

子ども会代表者6人から、メダルなどのお祝い品プレゼントがあり、元気いっぱいエール交換もありました。



笑顔で握手ひよつとこ踊り

◇楽しいアトラクション
①アロハ・マイの皆さん

「あこがれのハワイ航路」、アンコール「上を向いて歩こう」などの全員合唱、華やかなフラダンス3人も加わり、楽しい時間を過ごしました。

②野菊の会ひよつとこ踊り
一人ひとりの間を笑顔で回る7人のひよつとこ踊りに、会場は盛り上がりました

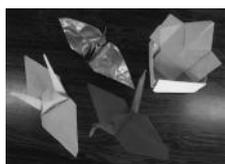
お昼の時間、お抹茶を飲み、手作りの祝い膳の会食と懇談。花束と記念品を受け取り散会しました。

折り鶴に願いをこめて

旭平二区

9月16日、旭崎新農村集落センターで、旭平二区の敬老祝賀会が開かれました。

金子友美区長が「雨の中、



折り鶴と
参加者の
皆さん



お集まりいただきありがとうございます。皆さんの元気なお姿を拝見し、また、人生の先輩として意見をいただきますながら、安心・安全な地域づくりに努めたいと思います」と挨拶しました。

ビンゴゲームではなかなか揃わない人には、みんな応援するなど、景品をゲットして和やかな雰囲気が出ていました。おりがみでは、皆さん思い出しをしながら、楽しそうに折って昔を懐かしそうにしており、帰りには記念品が一人一人に贈られ、楽しい時間を過ごしました。

絆が結ぶ自治会へ 助け合いの精神で 若狭山団地

10月27日、若狭山団地公民館で、自治会を中心に敬老祝賀会が開かれました。公民館には手づくりの神輿が祭られており、昨年までは、団地内を中心に神輿を練り歩いていましたが、今年は神輿の前でお祓いを済まし、加藤勝男自治会長が「大型台風や降雨の影響で、河川の氾濫など自然災害が影響で、自然災害が、あちこちで起きています。若狭山団地では、皆で声掛け合い、助け合い、皆で守りあっていきたい」とあいさつしま



皆さんで

した。

公民館前で、地区住人が大勢参加して輪投げ、ボウリング、ゴルフ、玉入れなど、熱気にあふれた班対抗の競技に入り、一喜一憂の対抗戦は、各班が熾烈な争い、3班が終始リードして優勝し、参加者全員に参加賞が贈られました。

その後、公民館に移り会食、沢山のご馳走をいただき、思いい話をしながら、敬老者一人一人に、お祝いの記念品が手渡され、若狭山団地自治会の絆の強さを、改めて感じさせられました。

地域の発展に感謝

旭台団地

秋の気配漂う9月16日、令和元年度旭台団地敬老祝賀会が、78人の招待者を迎えて同会館で開催されました。

◎式典では

増淵隆会長が主催者を代表し「敬老の日を迎えた皆さまは戦後70有余年、地域の復興・発展に尽力され感謝致します。皆さまのご長寿を、お

祈り致します」とあいさつ。

山口伸樹笠間市長からは、来賓祝辞と井原昭夫さんへの米寿記念品の贈呈式に続いて、「県立中央病院の建て替えの構想・電話詐欺の被害防止」など、医療体制の充実強化方策と高齢者にむけた話がありました。



記念品贈呈式 井原昭夫さん

◎アトラクションでは

♪飯田鈴廣琴古流尺八演奏家による「鹿の遠音」などの荘重な音色に、場内が魅了

されていました。

◎万葉亭小太郎さん笠間市包括支援センター職員からは、

認知症予防落語、「老いらくの告白」と題し、オレオレ詐欺の撃退場面がユーモラスに演じられ、場内が笑いにいつまれています。

閉会は、青木清副会長のこ

とばで締めくくり、引き続き行われた福引抽選会で祝賀会が終了しました。

招待者が帰宅の際は、お互いに「思い出をありがとう。無事にお帰り下さい。」と、あいさつが交わされておりました。

感謝の声を受けて 在宅介護者ふれあいサロン

大旭支部では、本年10月から12月にかけて「在宅介護者とのふれあいサロン事業」を行い、介護者とのふれあいを深めています。(訪問件数：21件)

◆事業のあゆみ(支部報より)

この事業は、平成20年8月に発足しました。

平成28年度までは、会合による対話を中心に行ってききましたが、介護者の方から

- ①代わりの介護人がいないため、会合に出席できない。
- ②外出中の不測の事態に、対処できない。

などの理由で出席者が年々減少したため、開催方法の見直しが必要となりました。



記念品

◆開催方法の変更

支部では、役員会・総会にはかり「会合の形式を、介護者宅を訪問する」ことに変更しました。

具体的には、

- ①訪問は、民生委員・児童委員の協力を受ける。
- ②ふれあいを深めるとともに、記念品を配布することとしました。

◆介護者からの声

- ①会合に出られず、困っていました。
- ②立場を理解していただき、感謝しています。
- ③タオルは必需品ですから、重宝しています。

◆小野武支部長からひとこと
この事業が、発足してから12年目になりました。

これからも、皆さんの意見を聞きながら、ふれあいを続けていきたいと思えます。

交流を広げる

高齢者クラブに

高齢者クラブ代表者懇談会

10月6日旭崎新農村集落センターで、社協大旭支部主催「高齢者クラブ代表者懇談会」(8地区の代表者参加)が開催されました。

この懇談会は、毎年この時期に開催され、次の4点を内容とし、懇談・検討が行われています。

- 1 活動の現況と問題点
- 2 支部主催グラウンドゴルフ大会の実施計画
- 3 高齢者クラブ助成金配布
- 4 その他協議事項

小野武社協大旭支部長のあいさつでは、

- ・参考資料から笠間市高齢者クラブ連合会の現状
 - ・各地区からの発表・懇談に期待、支部活動の工夫
 - ・会員募集
- などの説明がありました。

クラブ代表者から

- 現在の会員数と募集状況
- 健康体操、スポーツ、大会出場等の紹介
- 花いっぱい運動、奉仕活動の状況
- 練習場所の確保

○行事参加、広報活動の工夫など、アイデア・課題が発表され、活発な協議があり、充実した懇談会となりました。本年度支部主催のグラウンドゴルフ大会は、「矢野下寿会、若狭山会」が運営にあたることになりました。

◎クラブ代表者名(敬称略)

矢野下寿会	荻津 正男
若狭山会	鈴木 勝義
ときわ会	菅原 毅
三友会	大森 辰夫
旭崎新生会	小野 武
旭台睦会	園部 勝
ふれあいクラブ	青木 清
旭平ひので会	小倉 秀男



活発で充実した懇談会

ホールインワンに

歓声

グラウンドゴルフ大会

11月16日友部第二小学校で「笠間市社協大旭支部主催第17回グラウンドゴルフ大会」

が開催され、地区内の高齢者クラブから8チーム(85人)の選手が出場。来賓の山口伸樹笠間市長・海老沢清美笠間市社協次長と、看護師の関操さん・支部役員・女性部(食事担当)の総勢100人が、参加しました。

開会式では、主催者の小野武支部長から会員相互の交流促進。山口市長と海老沢次長からは、健康管理などのあいさつをいただきました。続いて、菱沼作太郎審判長から競技上の注意があり、A・Bコート別に試合開始。試合は10人以上がホールインワンを達成、歓声があがっていました。

終了後には、審判員の厳正な審査で入賞者が決定。表彰式では、優勝者をはじめ入賞者に矢野下名産の新米が、ホールインワン賞に同所の大根が贈呈されました。



入賞者の皆さん

◆入賞者の紹介(敬称略)

- 優勝 柏 善男
- 準優勝 笹嶋 秀介
- 第3位 栗田せつ子
- 第4位 早乙女 稔
- 第5位 佐藤トミ子
- 第6位 広瀬 幸子
- 第7位 竹内 藤男
- 第8位 宇田恵美子
- 第9位 吹野 敏男
- 第10位 兼子 甲

閉会式の後は、女性部自慢のおいしいカレーライスをいただきました。大会を終了しました。大会の運営に当たられた、矢野下寿会と若狭山会に改めて感謝いたします。

■民生委員・児童委員 功労者褒賞のご紹介

令和元年10月25日茨城県福祉大会で、次の方が社会福祉功労者自力更生者褒賞を受賞されましたので、ご紹介いたします。

- 岩田 幸雄さま(八幡台2)
- 菊池美智子さま(大沢2)

■広報委員を募集

広報委員会は旭支部の事業計画に基づき、支部活動や地域の情報をお伝えしていきます。

活動は、多くの方との出会いと勉強の場です。是非とも、お力添えを戴きたいと思えます。

ご連絡を、お待ちしております。

☎090225471280 吉田

○広報委員氏名

- ・委員長 吉田 正次
- ・副委員長 調 朝幸
- ・委員 岩田 幸雄
- ・委員 寺門 常康

